

四国のみち②④「水床探求のみち」

< 県境～海部駅コース >

【日 時】 2017年11月14日（火曜日）

【天 候】 雨

【メンバー】 CL秋永義久 SL三輪宏明 丸岡 隆 佐々木峯子 立川圭子

島野敏子 高山正代 斎藤富士子 佐賀康男 佐賀喜代子

加地幹夫 天野民代

計12名

【アクセス】 文化の森に集合、車で海部駅へ、汽車で高知県甲浦駅へ、四国の道 No.24
終着点徳島・高知県境より海部駅に向かってスタート

【コースタイム】

高知県境……1.7km（35分）……竹ヶ島休憩所……3km（40分）……化石漣痕
……1.9km（35分）……道の駅穴喰……5.7km（1時間20分）……那佐湾休憩所
……1.5km（20分）……海部駅

計 歩行距離 13.8km 所要時間 3時間30分

【コース概要】

今回は天候悪化のため急遽鈴ヶ峰を中止。文化の森より車3台に乗り海部駅まで行って、阿佐海岸鉄道で高知県甲浦駅へ。そこから徒歩で高知県境（徳島県）まで引き返して四国の道 No.24「水床探求の道」へ、海部駅を目指した。

海を眺めながらのんびりとした車道歩き。竹ヶ島の東屋で休憩。水床のきれいな海の色に感嘆しながらまた歩き始める。2億年前の天然記念物・化石漣痕にはみんな驚嘆の声。

穴喰大橋を越えて、道の駅に着いたのは12時過ぎ。食事を済ませ、穏やか那佐湾を眺めながら歩き始める。小さな雨ながらまだやまない。

黙々と歩くこと1時間余り。左手に公園ありトイレ休憩とコーヒータイクを取る。やっと海部駅に着き甲浦に置いた1台を迎えに行った間クールダウン。

【リーダーの感想】

全行程車道歩きではあったが、
穏やかな美しい海を眺めながらの
歩きはいつもの山歩きと違って
らくちんだった。

傘をさしての「四国のみち②④」は
思い出に残る25周年記念の歩きと
なった。



<鈴ヶ峰コース>

【日 時】 2018年2月14日(水)

【天 候】 晴れ

【メンバー】 CL秋永義久 SL佐々木峯子 高山正代 蓮池照子

立川圭子

計5名

【アクセス】

文化の森に集合後、国道55号を室戸方面へ走る。穴喰で県道301号に入り、鈴ヶ峰登山口に移動。

【コースタイム】

鈴ヶ峰登山口……1km(35分)……展望台……0.5km(15分)……ヤッコソウの案内板……1km(30分)……鈴ヶ峰頂上……2.5km(45分) 登山口

計 歩行距離 5km 所要時間 2時間5分

【コース概要】

2017.11.14に実施した「四国の道 No.24」のパート2である。今回は参加者5名で文化の森を1台の車で鈴ヶ峰を目指した。

国道55号を穴喰川手前で右に取り看板に従って林道終点の鈴ヶ峰登山口まで行く。30分過ぎで展望台に着く。

尾根に沿って登るとシイの大木群生に会う。りっぱなヤッコソウの案内板が設置されている。(ヤッコソウは11月頃に開花とのこと)

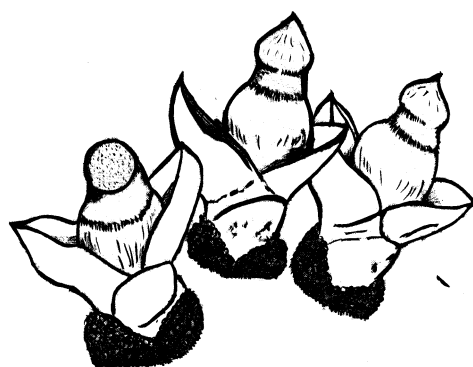
荒れた圓通廃寺を超えてもう一息。頂上からは南東方にのどかな海が望めて気持ちがいい。下山は往路を戻る。

【リーダーの感想】

前は悪天候で鈴ヶ峰を断念したため、今回の実行となった。再募集のため車1台で5人の参加となった。当日はこの冬一番の寒波で早朝の路面は凍結も予想されるくらいだったが、予定の集合場所に定刻に集まり出発した。

天気は快晴で南の山が薄い雪化粧をしていた。2時間余りで登山口に到着、当然ヤッコ草は見るできないが、好天気、山頂からの眺めは最高だった。

下りは1時間弱で降りて、昼食は海陽町の民宿を営む「こうじ屋」で魚貝どっさり海鮮丼やてんぷら刺身定食など新鮮で美味しい食事を頂いた。今回の楽しみはこれが大きな目的だった。





雨の中の集合写真

① 高知県境



② 天然記念物化石漣痕



穴喰 道の駅

③ 穴喰 道の駅



④ 那佐公園



海部駅に到着

⑤ 海部駅

